

みずほCustomer Desk Report 2018/02/28 号(As of 2018/02/27)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.81
TKY 9:00AM	107.07	1.2315	131.88	1.3963	0.7849
SYD-NY High	107.68	1.2346	132.18	1.3996	0.7869
SYD-NY Low	106.78	1.2222	131.28	1.3858	0.7784
NY 5:00 PM	107.33	1.2233	131.36	1.3912	0.7790
NY DOW	25,410.03	▲ 299.24	日本2年債	-0.1700	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,330.35	▲ 91.11	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,744.28	▲ 35.32	米国2年債	2.2640	3.61bp
日経平均	22,389.86	236.23	米国5年債	2.6645	5.37bp
TOPIX	1,790.34	15.53	米国10年債	2.8998	3.66bp
シカゴ日経先物	22,205	▲ 220.00	独10年債	0.6745	2.40bp
ロンドンFT	7,282.45	▲ 7.13	英10年債	1.5590	5.00bp
DAX	12,490.73	0.00	豪10年債	2.7445	0.10bp
ハンセン指数	31,268.66	▲ 229.94	USDJPY 1M Vol	8.22	▲ 0.38%
上海総合	3,292.07	▲ 37.51	USDJPY 3M Vol	8.05	▲ 0.30%
NY金	1,318.60	▲ 14.20	USDJPY 6M Vol	8.29	▲ 0.22%
WTI	62.84	▲ 1.07	USDJPY 1M 25RR	-1.09	Yen Call Over
CRB指数	195.39	▲ 1.36	EURJPY 3M Vol	8.33	▲ 0.20%
ドルインデックス	90.37	0.52	EURJPY 6M Vol	8.62	▲ 0.13%

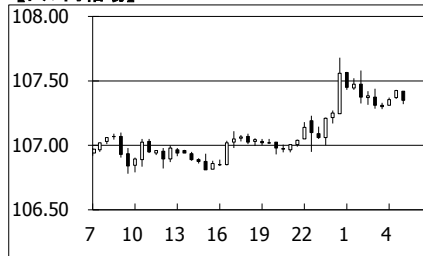
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月27日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	2月 0.1	0.1
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	1月 0.7%	0.4%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	1月 -3.7%	-2.0%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	1月 -0.3%	0.4%
2月28日	0:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	2月 130.8	126.5
	0:00	米 パウエルFRB議長 議会証言	「さらなる漸進的な利上げが最善策」	

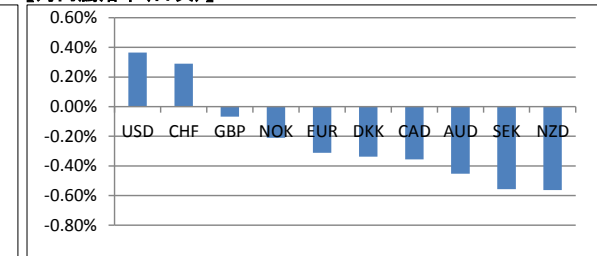
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月28日	10:00	中 製造業/非製造業PMI	2月 51.1/55.0	51.3/55.3
	19:00	欧 CPI予想/OPIコア(前年比)	2月 1.2%/1.0%	1.3%/1.0%
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-6.6%
	22:30	米 個人消費	4Q 3.6%	3.8%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q 2.5%	2.6%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q 1.9%	1.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.00—107.70	1.2170—1.2270	130.90—131.90

【マーケット・インプレッション】

昨日も海外時間のドル/円は底堅い展開であった。パウエルFRB議長が議会証言で利上げ継続を表明し、一部で米国年4回利上げ観測が浮上したことからドルは幅広く買われ、株は売られた。これから先はパウエル新FRB総裁の市場との対話力が試される場面が多くなると思われる。ただし本日は月末であって、実需のフローに左右されドル/円相場に明確な方向感はいくと思われる。

東京	東京時間ドル円は107.07レベルでオープン。この日も月末にかけて本邦実需勢による円転フローが意識される中でドル円は仲値付近にかけて106.78まで下落。実需フローが一巡すると、前日比プラス圏で寄り付いた日経平均株価が一段と上昇する動きも相俟って、107円台前半まで上昇。その後はやや材料感不足となる中で方向感に欠ける推移。引けに欠けては、日経平均株価が上げ幅を徐々に減らしていく動きにドル円もじり安の展開となり、結局106.81レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.81レベルでオープン。この日パウエルFRB議長が米下院の金融サービス委員会で初めて議会証言を行うことから、様子見の雰囲気の中で方向感乏しく推移し107.05レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.2334レベルでオープン。ワトマン・連銀総裁から「ユーロ圏の急速で幅広いペースでの経済成長がインフレの持続的上昇を確実なものにしているため、ECBは徐々に刺激策を縮小していくべきだ」との見解が示されたものの、この日発表された独2月CPI速報値が前年比1.2%の上昇(予想:1.3%)にとどまり、1年3か月ぶりの低い伸びとなったことから1.2313に低下。1.2315レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3970レベルでオープン。米社が英メディア大手に221億ポンドの現金による買収を提案すると発表したことで、ポンド買いドル売りフロー観測が浮上し、1.3996まで上昇。しかし、仏大統領が英国とEUの関税同盟は限定的なものとなると発言すると、1.3936まで下落し結局1.3937レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、パウエルFRB新議長による就任後初の議会証言を控え、107円近辺での小動きに終始し、107.05レベルでNYオープン。朝方、議会証言に先立ち公表された冒頭発言テキストで米経済に対する強気な見方や利上げ継続に前向きスタンスが明らかになったことから、同時に発表された米1月耐久財受注の冴えない結果が材料視されることなく、107.23まで上昇。一旦はNY安値106.95まで小振れも、米金利上昇と共にすぐに107円台を回復。米国時間10:15頃に開始した下院金融サービス委員会の議会証言では、「自身の米景気見通しが12月以降強まった」「インフレ率が2%目標に向けて上昇しつつある」との見方を裏付けるデータが出てきている」「FRBが後手に回り経済が過熱すると、利上げペースを速める必要が出てくる」といったタカ派な発言がみられ、利上げペース加速を織り込む動きが強まり、米金利と共にドル全面高の展開。ドル円は短期的なレジスタンス107.30レベルを上抜けるとストップを巻き込みながらこの日の高値となる107.68まで急騰。この水準では利益確定の売りが下押し圧力となった他、米金利も反落したことから107.28まで下落し、107.33レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.2315レベルでオープン後、パウエルFRB議長議会証言を材料としたドル買いに直近安値1.2260(2/22)を下抜けストップを巻き込みながらこの日の安値となる1.2222まで下落。米金利上昇が一服したことからユーロドルも下げ止まり、1.2255まで反発したものの戻りは鈍く、結局1.2233レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：加藤・鶴田